

## 第2章 子どもの読書活動の実態と課題

### 1 子どもの読書活動に関するアンケート結果から

#### (1) アンケート調査の概要

##### ○ 調査の目的

町内の子どもの読書に関する現状を把握するために実施したものであり、第二次計画策定の基礎資料とすることを目的としています。

##### ○ 調査対象

- ・ 町立小学校の5年生の児童（66人）、町立中学校の2年生の生徒（65人）
- ・ 町立小学校の5年生の児童の保護者（66人）、町立中学校の2年生の生徒の保護者（65人）
- ・ 町立幼稚園、保育園、こども園の園児の保護者（69人）
- ・ 町立園・学校の図書担当職員、関係機関の担当者

##### ○ 調査月・調査方法

令和2年（2020）年9月、各園・学校にて（保護者は家庭において）、アンケート用紙を配付、回収しました。

#### (2) 児童・生徒に対するアンケート結果の主なもの

##### ① あなたは本を読むことが好きですか。

	すき	どちらかというとき	どちらかというとき	きらい	無回答
小学5年生	36.4%	43.9%	16.7%	3.0%	0.0%
中学2年生	10.8%	35.4%	38.5%	13.8%	1.5%

「あなたは本を読むことが好きですか。」という設問に対して、読書が「すき」、「どちらかというとき」と回答した子どもたちの割合が、小学生は80%以上になりました。中学生は、小学生と比べて割合は低くなっており、50%未満という回答でした。平成30年度文部科学省委託調査「子供の読書活動の推進等に関する調査研究」の全国平均は小学生73.3%、中学生67.3%に比べて、小学生は高く、中学生は低い傾向にあることがわかりました。

##### ② あなたは1ヶ月に何冊くらい本を読みますか。

	10冊以上	6～9冊	3～5冊	1～2冊	0冊	無回答
小学5年生	10.6%	12.1%	25.8%	39.4%	12.1%	0.0%
中学2年生	1.5%	1.5%	0.0%	52.3%	36.9%	1.5%

「あなたは1ヶ月に何冊くらい本を読みますか。」という設問では、小学生、中学生共に、「1～2冊」の割合が最も高くなっています。また、「0冊」という回答は、小学生が12.1%、中学生が36.9%でした。しかし、3冊以上読む小学生が48.5%と半数近く回答しているのに比べ、3冊以上読む中学生はほとんどおらず、中学生の不読率が高くなっています。

##### ③ 『0冊』だった人に聞きます。本を読まなかったのはどうしてですか。

	本を読む時間がない	読みたい本がない	本を読むことが嫌い	その他	無回答
小学5年生	12.5%	37.5%	25.0%	25.0%	0.0%
中学2年生	4.0%	20.0%	64.0%	4.0%	8.0%

「本を読まなかった理由」への回答を見ると、小学生は「読みたい本がない」という意見が最も多く、中学生は「本を読むことが嫌い」の割合が、60%を超えています。

④ 小さいころ、家の人に本を読んでもらったことがありますか。

	よく読んでもらった	ときどき読んでもらった	あまり読んでもらわなかった	読んでもらわなかった	無回答
小学5年生	28.8%	43.9%	16.7%	9.1%	1.5%
中学2年生	23.1%	49.2%	18.5%	7.7%	1.5%

「小さいころ、家の人に本を読んでもらったことがありますか。」という設問への回答を見ると、「よく読んでもらった」と「ときどき読んでもらった」という小・中学生の割合が、70%を超えています。一方で「読んでもらわなかった」という回答も10%弱の子どもに見られました。

⑤ どうしたら多くの人が本を読むようになりますか。

	小学5年生	中学2年生
小さいころから読み聞かせをする	16.8%	25.8%
小さいころから図書室や本屋などに行く	13.5%	10.8%
家族で本に親しむようにする	14.1%	10.8%
学校で読書の時間を決める	10.3%	12.5%
学校の図書室を利用しやすくする	9.7%	11.7%
学校の図書室でお話し会などを開く	9.2%	5.0%
図書ボランティアに学校へ来てもらう	6.5%	5.8%
図書委員会からの本の紹介など	10.8%	6.7%
生涯学習センターの利用時間や利用日を増やす	5.9%	3.3%
その他	3.2%	3.3%
無回答	0.0%	4.2%

「本を読むようになる理由」という設問への回答を見ると、「小さいころから読み聞かせをする」が小・中学生とも最も高くなりました。また、小学生は「家族で本に親しむようにする」や中学生は「学校の読書の時間を決める」がそれぞれ第2位の理由とされることから、読書環境を整えることが有効であると小・中学生は考えています。

(3) 保護者に対するアンケート結果の主なもの

① あなた（保護者）のお子さんは、本（読書）が好きだと思いますか。

	好き	どちらかという好き	どちらかという嫌い	嫌い
小学5年生の保護者	31.8%	31.8%	27.3%	9.1%
中学2年生の保護者	8.7%	32.6%	50.0%	8.7%

子どもが「本を読むことが好き」、「本を読むことがどちらかという好き」と感じている保護者は、小学生の保護者で63.6%、中学生の保護者で41.3%が、自分のお子さんが読書に関心をもっていると答えています。

② あなた（保護者）はお子さんに、家庭で「読み聞かせ」をしていましたか。

	よくしていた	時々していた	ほとんどしていない	していない
小学5年生の保護者	22.7%	53.0%	18.2%	6.1%
中学2年生の保護者	21.7%	43.5%	26.1%	8.7%

「あなたは本の読み聞かせをしていたか。」という設問に対して、「よくしていた」、「ときどきしていた」と回答した保護者の割合が、小学生の保護者では75.7%、中学生の保護者で65.2%になりました。

③ あなた（保護者）は本を読むことが好きですか。

	好き	どちらかという好き	どちらかという嫌い	嫌い	無回答
幼・保・こども園の保護者	20.0%	45.0%	26.7%	5.0%	3.3%
小学5年生の保護者	37.9%	34.8%	25.8%	1.5%	0.0%
中学2年生の保護者	15.2%	50.0%	28.3%	6.5%	0.0%

「あなたは本を読むことが好きですか。」という設問に対して、読書が「好き」、「どちらかという好き」と回答した割合が、幼・保・こども園の保護者では65.0%、小学生の保護者では72.7%、中学生の保護者では65.2%になりました。

④ - 1 ご家庭では、お子さんの身近なところに本が置いてありますか。

	本を置いてある	本を置いてない
小学5年生の保護者	86.4%	13.6%
中学2年生の保護者	76.1%	23.9%

④ - 2 あなたのお子さんは、日ごろ、本に接する機会がありますか。

	ある	ない
幼・保・こども園の保護者	85.0%	15.0%

「ご家庭では、お子さんの身近なところに本が置いてありますか。」という設問への回答を見ると、小・中学生の保護者共に、約80%の家庭で、本が身近なところにあることが分かりました。また、「あなたのお子さんは、日ごろ、本に接する機会がありますか。」という設問に対して、幼・保・こども園の保護者は85.0%が「本に接する機会がある」と回答しています。

⑤ 家庭での自由時間に、お子さんは何をすることが多いですか。

	外で遊ぶ	テレビ（ビデオ）や動画を見る	ゲーム機で遊ぶ	利用する（動画以外）スマートフォンやインターネット	本を読む	勉強をする	マンガを読む	家事の手伝い	その他
小学5年生の保護者	12.6%	24.0%	22.4%	6.7%	7.1%	8.3%	12.2%	5.9%	0.8%
中学2年生の保護者	7.1%	24.4%	14.9%	22.0%	3.0%	13.1%	7.1%	6.0%	2.4%

家庭での自由時間には、「室内でテレビやビデオを見る」ことが、小・中学生共通で最も多い回答でした。次に、小学生は、「ゲーム機で遊んだりする」、中学生は「インターネットやスマートフォンなどを利用する」が多い回答でした。テレビ・ゲーム機を占める割合が多いのは予想されたことですが、外で遊ぶ児童の割合と漫画を読む児童の割合がほぼ同じでした。また、「本を読む」と回答した割合は、小学生で7.1%、中学生で3.0%でした。

(4) アンケート結果からの考察

山北町の子どもは、比較的小さな頃から保護者が読み聞かせをしていた傾向にあり、小学生まではその影響からか、本が好きな子どもが多いということがわかりました。

また、「どうしたら多くの人が本を読むようになりますか。」という設問に対しても「小さいころから読み聞かせをする」という回答が一番多く、子ども自身も読み聞かせを重要と感じていることがよくわかりました。

幼稚園・保育園・こども園の保護者について、「子どもが本に接する機会がある」と回答したのは全体の85.0%でした。そのうち、64.7%の保護者が「毎日」か「週に1～4回」読み聞かせを実施しています。

小学生の保護者は、75.7%が「本の読み聞かせ」をしていました。同様に小学生は、72.7%が「家の人に本を読んでもらったことがある」と回答しています。さらに、中学生の保護者は、65.2%が「本の読み聞かせ」をしていました。同様に中学生は、72.3%が「家の人に本を読んでもらったことがある」と回答しています。

全国的にも読書の習慣は、年齢が上がるにつれて低くなる傾向にありますが、山北町の中学生は「本を読むことが好きですか」という質問に対して、半数を越える生徒が読書嫌いであると回答しています。また、中学生の保護者に向けた「あなたのお子さんは、本が好きだと思いますか」という設問でも同様の結果が見られました。

つまり、半数以上の生徒が学校生活のみならず、家庭でも進んで読書をしていないと言えます。このことは、「家庭での自由時間に、お子さんは何をすることが多いですか。」という設問に対して、「本を読む」という回答が3.0%であったことから伺えます。

また、他の回答として「テレビ（ビデオ）や動画を見る」「ゲーム機で遊ぶ」「インターネットやスマートフォンを利用する」が合わせて約60%を占めていました。これは、本を読むことや外で遊ぶよりもゲームやスマートフォンを使用することに楽しさを見出していると思われます。

乳幼児期から学童期を経て、青年期へとつながる中で読書活動を推進していくには、「読みたくなる」という意欲付けを図り、「読みたい」と思った時に、いつでも本を手にすることができる環境を整えていくことが大切といえます。



↑ 保護者による乳児への読み聞かせの様子

## 2 これまでの成果と課題

### (1) 町における家庭や地域の子ども読書活動の取組み

アンケート結果では、小さいころの読み聞かせは、子ども自身も読書推進のために重要であると感じているということがわかりました。

これまで、町では家庭での子ども読書活動推進事業として、「ブックスタート事業」の中で絵本やブックリストの配付、おはなし会などを実施しています。

また、生涯学習センター図書室の利用促進や読書への興味関心の向上のために図書室体験教室や読書週間等のイベントに取り組みました。



↑ 生涯学習センター図書室体験教室の様子

#### ① 成果

##### ○ ブックスタート事業

家庭での読書活動推進を呼びかけるため、図書ボランティア団体に依頼し、3ヶ月健康診査の会場で「ブックスタート事業」を実施しました。

##### ○ おはなし会等読書推進イベントの実施

地域全体での読書活動を推進するため、おはなしボランティア団体等によるさまざまなおはなし会、ブックトーク、ミニ人形劇などを実施しました。また、キッズカーニバルなどの親子が集まるイベントでも、親子でたくさんの絵本やお話と触れ合う機会を提供し、読書活動の啓発に取り組みました。

- 生涯学習センター図書室利用促進・読書への興味関心向上のための取組み  
読書活動への興味関心をつなげるため、中学生職業体験学習の受け入れ、図書室体験教室などの体験学習、中学生図書紹介カード展、読書週間におけるポイントカードやおたのしみ袋等のイベントに取り組みました。
- 図書ボランティア団体の育成  
図書ボランティア団体を充実・育成するため、毎年1回ボランティア養成講座を実施しました。
- 図書団体貸出制度の利用促進  
町立園・学校や図書ボランティア団体等との連携のため、「図書団体貸出制度」を設けたり、学校図書館へ特設コーナーを設置したりと子どもの読書活動の推進に努めました。

## ② 課題

- 家庭読書の推進  
乳幼児期の読書活動の推進のため、保護者に家庭での読み聞かせや読書の重要性を周知する必要があります。また、保護者へ子どもに対する本の読み聞かせ方や選び方を学び・体験できる機会を提供する必要があります。
- 図書ボランティア団体の支援・充実・育成  
子どもたちにたくさんのさまざまな本と出会う機会を提供するためには、図書ボランティア団体の存在が必要不可欠となります。本好きを増やすためにも、読書活動を行うボランティアの支援・充実・育成が必要となります。
- 小学校高学年児童から中学生向けの読書支援  
生涯学習センター図書室や電子図書館では、全国的に読書離れの傾向が強くなってくる小学校高学年児童から中学生向けの蔵書の充実と環境整備、学校と連携した学習支援や図書室利用促進を図る必要があります。



↑ 図書ボランティア団体によるおすすめ本の紹介

## (2) 町立幼稚園・保育園・こども園の子ども読書活動の取組み

町立幼稚園・保育園・こども園では、各施設内に絵本コーナーを設置したり、おすすめの本を保護者に紹介したりするなど、「山北町就学前カリキュラム」に基づき子どもの読書活動を推進しています。

### ① 成果

- 絵本コーナーの設置  
保育室内に園児が楽しく自由に本を選び、読める絵本コーナーを設置し、読書への関心を持たせることにつながりました。また、保育者自身も学年に応じた絵本の世界を知る機会を作ることができました。
- 図書の選書・購入  
様々な分野の本を購入することで、子どもの興味関心が深まりました。
- 保護者に対する読書活動推進の周知

園だよりなどの配付物や掲示板等を利用し、保護者に子どもの興味に合わせた本や保育者等のおすすめの本、季節の本などを紹介しました。

○ 読み聞かせの実施

保育者が季節や行事等を意識した絵本の読みきかせをすることで、お話に集中する時間を作ることができています。また、読み聞かせた本を絵本コーナーに置いておくことで、子どもが自発的に読書に取り組むことができました。

○ 生涯学習センター図書室との連携

生涯学習センター図書室で実施しているおはなし会や図書団体貸出制度を利用することで、さまざまな本の読み聞かせを経験し、ゆったりとした時間を過ごすことができました。また、絵本の選び方や読み方などを保育者が学ぶことができました。



↑ 図書ボランティア団体によるおはなし会の様子

② 課題

○ 家庭読書の推進

保護者自身が絵本に親しみを持てるような場所の提供ができなかったため、おすすめの本などを分かりやすく伝え、家庭で読み聞かせを実施していただくための工夫が必要です。

○ おはなし会等での読み聞かせ

子どもや保護者に本への興味をもってもらうため、図書ボランティア団体等によるおはなし会の実施が必要です。

○ 各関係機関との連携

生涯学習センター図書室等と連携し、おはなし会等のイベントへの参加や図書団体貸出制度を有効に使う必要があります。

○ 環境整備

園によって絵本コーナーが狭い、保護者が絵本に親しみをもてるような読書スペースがないなど環境設備が不十分であるところがあります。より、読書活動の推進を図るためには、読書環境の整備が必要です。

○ 本の管理・充実

蔵書を大事に利用していくと共に、選書をしっかりとて、新しい本の充実を図る必要があります。

(3) 町立小学校の子ども読書活動の取組み

① 成果

○ 学校図書館・学年文庫の活用

調べ学習や学習の合間などさまざまな場面で、学校図書館を利用することができました。学校図書館の環境を整え、教科書で紹介されている本を中心に学年文庫を作ったことで、図書の貸出し冊数が増え、子どもたちが気軽に手に取って本に親しむ姿が多くみられるようになりました。

○ 読書タイムの実施

一斉読書の時間があることで、読書習慣の定着や読書意欲の向上を図ることができました。

○ 図書ボランティア団体の活用

地域の図書ボランティア等による本の読み聞かせやおはなし会、地域の民話の紙芝居などを行ったことで、読書に関心を持つだけでなく、地域の人々や地域に伝わる昔話にも関心を持つことができました。

○ おすすめ図書コーナーの設置

教職員や図書委員によるおすすめ本のコーナーを設けたことで、子どもたちの読書活動推進につながりました。



↑小学校での図書ボランティアによる読み聞かせの様子

② 課 題

○ 休み時間等の学校図書館の利用

休み時間は集団で遊ぶことが優先され、学校図書館の利用が少ない傾向にあります。

○ 各関係機関との連携

生涯学習センター図書室等と連携し、おはなし会等のイベントへの参加や図書団体貸出制度を有効に使う必要があります。

○ 環境整備

教科や総合学習で学校図書館を利用する機会が増えているため、蔵書の充実や環境整備が必要です。

○ 家庭読書の推進

家庭と連携した読書活動推進を図るため、読書活動に関する啓発・広報活動の工夫が必要です。

(4) 町立中学校の子ども読書活動の取組み

① 成 果

○ 読書タイムの実施

朝読書の時間等を設け、落ち着いて読書をする態度を養うことができました。

○ ビブリオバトル・読書紹介スピーチの実施

中学校3年間を通して取り組んでいる「ビブリオバトル」や「読書紹介スピーチ」は、読書をする一つの機会となりました。

○ 生涯学習センター図書室との連携

学校における学習課題に取り組むことをきっかけとして、生涯学習センター図書室と連携したことも有効でした。

また、中学生のうちに生涯学習センター図書室へ実際に足を運び、本を探し、借りてみることで、展示されている作品を見に行ったり、寄せられた感想を読んだりして興味を広げ、つながりを感じることは、生涯学習の視点からも意義がありました。

○ 学校図書館の活用

学校図書館を活用した調べ学習は、必要な資料を探す力、そこから情報を引き出し、評価し、比較検討する力などが養われ、生徒の主体性を育てることができました。

② 課 題

○ 環境整備

読書環境の整備の面で、学校図書館の蔵書数は充実していますが、古い資料が多いことや、蔵書管理システムが整備されていないため、図書資料の検索や図書の貸し出し、返却がスムーズではありません。

○ おすすめ本の紹介

生徒や保護者に対する読んでほしい本の紹介、読書活動の啓発ができる機会が少なく、不十分です。



↑生涯学習センター図書室主催「よるのこわいおはなし会」の様子



↑川村小学校掲示板を活用しての生涯学習センター図書室おすすめ本の紹介



↑生涯学習センター図書室の窓を利用したおすすめ本の紹介